

令和7年度第1回学校評価アンケート（生徒編） 集計結果

NO.	質問内容	肯定 (%)	否定 (%)	肯定	否定
1	大山口中学校が好きですか。	87	13	87	13
2	自分を大切にしていますか。	88	12	88	12
3	誰にでも優しく接していますか。	92	8	92	8
4	先生は個に応じて授業を工夫して教えてくれていますか。	89	11	89	11
5	自分から授業に進んで参加していますか。	89	11	89	11
6	授業はわかりやすいですか。	87	13	87	13
7	家庭学習に意欲的に取り組んでいますか。	65	35	65	35
8	学校のルール(基本的な生活習慣)を守れていますか。	94	6	94	6
9	先生は相談に応じてくれますか。	93	7	93	7
10	気軽に話せる友人がいますか。	96	4	96	4
11	清掃は丁寧にできていますか。	91	9	91	9
12	学校行事から学ぶことがありますか。	92	8	92	8
13	生徒会活動や部活動、学級活動に意欲的に取り組んでいますか。	91	9	91	9
14	学校目標と学年目標を知っていますか。	86	14	86	14
15	学校からの情報を保護者に伝えてありますか。	90	10	90	10
16	先生は生徒個々の特性やニーズに応じて接していますか。	90	10	90	10
17					
18					
19					
20					
21					
22					

令和7年度第1回学校評価アンケート（生徒編） 考察

1 肯定的な回答が多かったもの

設問10「気軽に話せる友人がいますか」に対して、96%の肯定的な回答が得られた。学校生活を送る上で、多くの生徒が良好な人間関係を構築できている。あるいは、構築しようとしていると考えられる。また、設問3「誰に対しても優しく接していますか」において、92%の肯定的な回答が得られた。多くの生徒が思いやりを持って他に接することができている様子がうかがえる。今後も継続して、豊かな人間関係作りを後押しできるようにしていきたい。

設問8「学校のルール（基本的な生活習慣）を守れていますか」に対しては94%と高い肯定率となっている。ルールを守ることは、生徒全員が気持ちよく生活する上で必要不可欠な要素である。今後も高水準で維持及び向上ができるように、継続的に指導・支援にあたっていきたい。

設問9「先生は相談に応じてくれますか」では93%の肯定的な回答が得られた。教育相談や面談のみならず、日常のちょっとした悩みや困りごとを気軽に相談できる存在であることを認識できるような距離感を実現するべく努力していきたい。

2 否定的な回答が多かったもの

学習へ対しての設問に課題が見られた。設問7「家庭学習に意欲的に取り組んでいますか」において35%の否定的な回答が見られた。設問4「先生は個に応じて授業を工夫して教えてくれていますか」の肯定率は89%、設問5「自分から授業に進んで参加していますか」の肯定率も89%となっており、授業への意欲的な参加が、家庭学習の習慣へ結びついていないことがわかる。これは、昨年度からの継続した課題の1つでもある。生徒の興味・関心を引き出せるような学習を展開していくこと、具体的な家庭学習への取り組み方の支援などを通して、家庭学習への動機づけを向上させていきたい。

本校では「学力向上」を目標として掲げ授業改善を図っている最中である。興味関心を引く学習課題の設定、ICTの利活用、対話的な学び合い活動等を今後も実践していきたい。学力向上とともに学習への意欲的な態度を育成できるよう、引き続き授業改善と家庭学習習慣の確立に努めていきたい。

3 総合的に

全体的に、多くの設問に対して肯定的な回答が得られた。設問14「学校目標と学年目標を知っていますか」については、86%の肯定的な回答が得られた。これは前年度に比べても向上傾向にある。日常の生活に中において学校目標・学年目標・学級目標の周知をさせることができているのではないかと考える。今後も今年度の学校教育目標である「ウェルビーイングの実現」を浸透させ、90%以上の肯定率を目指していきたい。

大山口中学校の生徒は様々な活動に前向きである。設問11「清掃は丁寧にできていますか」においては、91%、設問12「学校行事から学ぶことがありますか」においては、92%、設問13「生徒会活動や部活動、学級活動に意欲的に取り組んでいますか」においては、91%の肯定的な回答が得られた。学校生活の諸活動をさらに良いものにしていくために、常に改善の視点を持って指導にあたっていきたい。また、これらの生徒たちの頑張りを、保護者や地域の皆様に知っていただく機会や見ていただく機会を可能な限り増やせるように検討していきたい。

令和7年度第1回学校評価アンケート（保護者編） 集計結果

NO.	質問内容	肯定 (%)	否定 (%)	肯定	否定
1	お子様は大山口中学校が好きですか。	92	8	92	8
2	お子様は自分を大切にしていますか。	97	3	97	3
3	お子様は誰にでも優しく接していますか。	95	5	95	5
4	学校は個に応じた授業を工夫していますか。	79	21	79	21
5	お子様は意欲的に家庭学習に取り組んでいますか。	60	40	60	40
6	お子様は授業がわかると言っていますか。	66	34	66	34
7	お子様は学校生活のルール(基本的な生活習慣)が守れていますか。	94	6	94	6
8	学校は保護者やお子様からの相談に丁寧に応じていますか。	93	7	93	7
9	お子様には気軽に話せる友人がいますか。	93	7	93	7
10	お子様は身の回りの整理整頓ができていますか。	53	47	53	47
11	学校行事はお子様の成長に結びついていますか。	95	5	95	5
12	お子様は生徒会活動(部活動含む)や学級活動に意欲的に取り組んでいますか。	86	14	86	14
13	学校目標や学年目標は保護者に伝わっていますか。	78	22	78	22
14	学校からの必要な情報が保護者に伝わっていますか。	89	11	89	11
15	学校は保護者や地域からの願いに応じた教育をしていますか。	87	13	87	13
16	学校は環境整備や安全への配慮ができていますか。	93	7	93	7
17	学校は生徒個々の特性やニーズに応じた支援を行っていますか。	79	21	79	21
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					

令和7年度第1回学校評価アンケート（保護者編） 考察

1 肯定的な回答が多かったもの

設問2「お子様は自分を大切にしていますか」、設問3「お子様は誰にでも優しく接していますか」の2つの項目に対し、95%を超える肯定的な回答が寄せられた。昨年度とほぼ同等の数値であり、成果として捉えることができる。この項目については、充実した学校生活には不可欠な要素である。これは、家庭との連携なくしては実現しないことであり、保護者の方々にも感謝申し上げたい。

設問11「学校行事はお子様の成長に結びついていきますか」について、95%の肯定的な回答が得られた。今年度も生徒たちは、行事を自分たちの力で創り上げていこうと、前向きに取り組んでいる。また、そのような生徒の活躍の場を保護者の皆様に公開できる機会を極力設けていきたい。

設問7「お子様からは学校生活のルール（基本的な生活習慣）が守れていますか」においても94%の肯定的な回答が寄せられている。学校のみならず、各家庭でも指導を頂いているものと思われる。今後も継続して基本的な生活習慣の確立に向け支援していきたい。

2 否定的な回答が多かったもの

最も否定的な割合が高かったものが設問10の「お子様は身の回りの整理整頓ができていますか」で、47%の否定的な回答が寄せられている。ただ、前年度との比較をするとやや上昇している。学校生活における継続した課題のひとつでもあり、今後も重点を置いて指導にあたっているところで、少しずつでも向上させていきたい。

次に割合が高かったものが、設問5の「お子様は意欲的に家庭学習に取り組んでいますか」の40%に次いで設問6の「お子様は授業が分かると言っていますか」の34%である。これらの項目においては、本校が抱える重要な課題のひとつとして前年度より対策を講じているところではあるが、その成果を実感するまでには至っていないという実態がある。「授業が分かる」という積み重ねが生徒の主体性や意欲を引き出すことに繋がるということ念頭に置き、学習指導の工夫、授業改善に向けて取り組みを進めていきたいと思う。そして、学力の定着を図るための効果的な家庭学習の在り方を生徒に浸透させられるように、様々なアプローチを模索していきたいと思う。

3 総合的に

学習に関わるいくつかの設問において課題があり、今後も引き続き改善が必要であると考える。学力向上のために、生徒が意欲的に学習に取り組めるような環境づくりをしていきたい。また、個に応じた授業を工夫し、授業改善に努めていきたいと思う。

設問14「学校からの必要な情報が保護者に伝わっていますか」の設問については、89%の肯定率となっており、前年度と比較しても同等以上の値となっている。今後もLINEやホームページ等を有効に活用して、的確に情報が保護者に伝わるように努めていきたい。

設問15「学校は保護者や地域からの願いに応じた教育をしていますか」では87%、設問16「学校は環境整備や安全への配慮ができていますか」については93%超の肯定的な回答が寄せられた。今後もより、安心安全な学校生活を実現させるために、家庭と地域の声に真摯に耳を傾けていきたい。そして、学校と保護者（家庭）が携を密にし、生徒が健やかに育んでいけるような環境づくりに引き続き努めてまいりたい。